

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実
 基本事業 教育内容の充実

事業名 **児童生徒体力向上事業**

[0880]

| | | | | | |
|----|---------------|--------|--------|----------|------|
| 部名 | 教育部 | 事業開始年度 | 平成22年度 | 実施計画事業認定 | 非対象 |
| 課名 | 学校教育支援室 学校教育課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|---|
| 対象 | (誰、何に対して事業を行うのか) 市内小中学校の児童生徒 |
| 意図 | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 児童生徒の体力・運動能力の現状を把握し、学校における体育・健康に関する指導の充実及び児童生徒の体力向上を図る。 |
| 手段 | (事務事業の内容、やり方、手段) モデル校において、体力向上のための調査研究や実践を行う |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|-----------------------|----------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度当初 |
| 対象指標1 | 小中学校児童生徒数 | 人 | 10,674 | 10,042 | 9,722 | 9,503 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 体力向上に取り組んだ回数 | 回 | 38 | 40 | 39 | 38 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 児童生徒で体力が向上した割合 | % | 58 | 71 | 67 | 70 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 554 | 420 | 420 | 680 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 1,612 | 1,605 | 2,405 | 2,417 |
| | | | | | | |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 2,166 | 2,025 | 2,825 | 3,097 |

| 費用内訳 | |
|------|-----------|
| 24年度 | 委託料 420千円 |

事業を取り巻く環境変化

| | | | |
|--------|--|-------------|--|
| 事業開始背景 | | 事業を取り巻く環境変化 | |
|--------|--|-------------|--|

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

児童生徒の体力向上につながるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

北翔大学との連携による専門的な指導と分析は、児童生徒の体力向上につながる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

朝運動プログラムに取り組む前後の体力測定の結果、いくつかの項目で改善がみられた。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

事業の結果を受け、体力向上事例として各学校で取り組むようになれば効果が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

引き続き、子どもたちが意欲的に興味を持って取り組めるような運動プログラムの開発とその効果について検証していく。